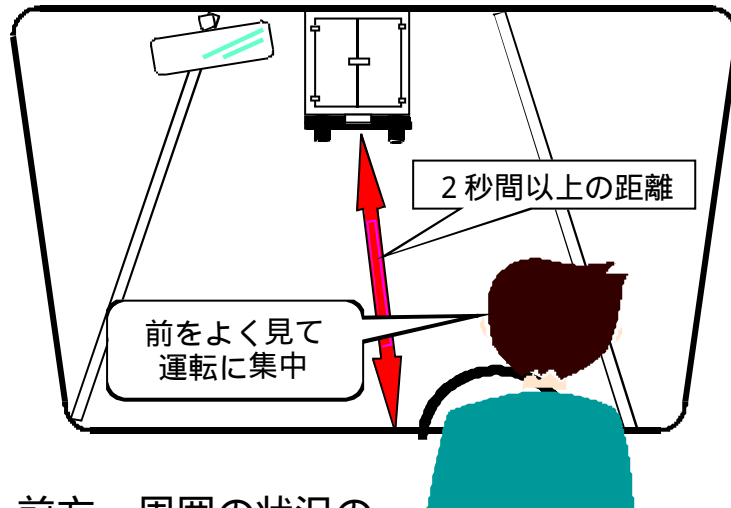


追突しない・されないために

～ 追突事故が全人身事故の約 4 割 ～

追突しないための “前方注視・運転集中運動” “車間時間 2 秒間運動”



時速	2秒間に進む距離	停止距離
40 km	約 22 m	17.3 m
50 km	約 28 m	24.5 m
60 km	約 33 m	32.7 m

前方・周囲の状況の安全確認と運転操作に集中し、前車と自車との間に「2 秒間」以上の距離をあける

早めのライト点灯で合図

薄暮時に早めにライトを点灯し、自車の存在をアピール

早めのライト点灯による効果

- ・ 他車の確認が容易
 - ・ 反射材の効果が増大など
- 夜間は、こまめな切り替えによる上向きライト（ハビーム）の活用が、事故防止に効果的



早めの方向指示器で合図

- ・ 進路変更時は 3 秒前から
 - ・ 右左折時は 30 m 手前から
- 自車の運転行動を後続車や周囲の車両・歩行者等に知らせることが、事故防止に効果的

早めのストップランプで合図

- ・ 停止する際はポンピングブレーキを活用
- ・ 停止中はブレーキをしっかりと踏んで後続車両に停止中のお知らせ

追突されないための “早めの合図実践運動”